

証券コード：7369



MEIHO
GROUP

2023年6月期 決算説明会資料

2023年8月10日（木）

株式会社メイホーホールディングス
代表取締役社長 尾松 豪紀

変わる勇気が、
未来を変える。

本日の要旨

メイホー グループ の概要

- ◆ 中小企業経営支援プラットフォームを核とした
中小企業集合体

2023年6月期 決算実績

- ◆ 売上高 7,371百万円（前年同期比20.6%増）
- ◆ 営業利益 462百万円（前年同期比34.9%増）
ともに過去最高を更新

2024年6月期 業績予想

- ◆ 売上高 8,000百万円（前年同期比8.5%増）
- ◆ 営業利益 500百万円（前年同期比8.1%増）を見込む
※7月にグループ入したフジ土木設計業績予想は織込済
※未実施のM&Aによる業績への影響は考慮せず

今後の取り組み

- ◆ 売上高100億円体制の早期実現に向けたM&Aの推進

メイホーグループの概要

中小企業支援プラットフォーム

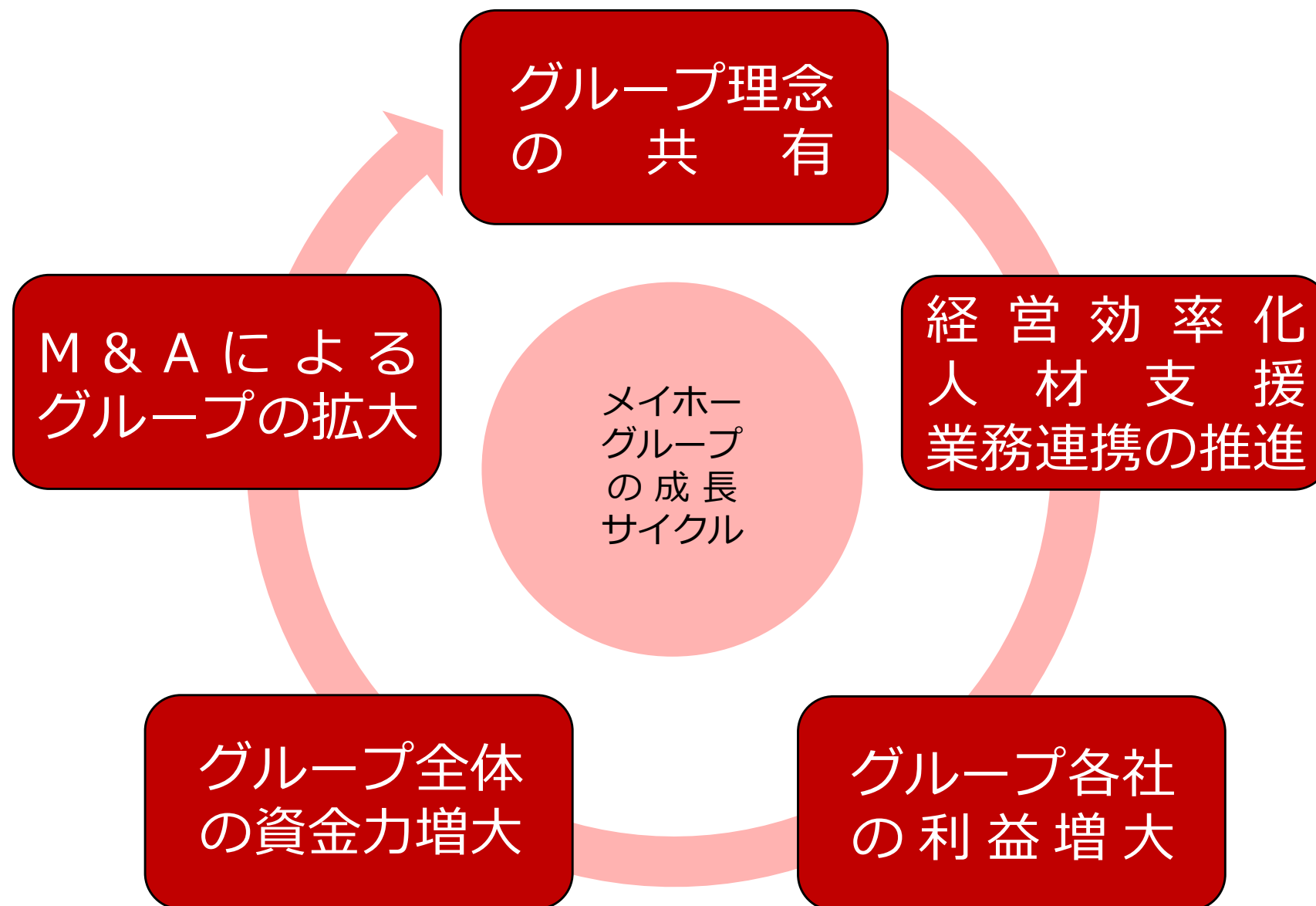
私たちメイホーグループは

中小企業経営支援プラットフォームを核とした

実業を営む中小企業の集合体です

私たちメイホーグループは
将来不安を感じている中小企業や
成長意欲の高い中小企業との資本提携を推進し、
これらの企業の経営効率化・人材支援・業務連携を
サポートすることで、各企業の利益を増大させ、
さらなる中小企業との資本提携を推進している企業
グループです。

メイホーグループの成長サイクル



中小企業支援プラットフォーム

中小企業支援プラットフォーム

ネットワーク

M&Aの推進を通じて、長年地域を支えてきた企業の全国ネットワークを構築

経営効率化

- ・月次決算
- ・経営会議（月次でPDCA）
- ・一括資金調達
- ・コンプライアンス
- ・ガバナンス他

人材支援

- ・人材採用
- ・教育訓練
- ・理念共有

業務連携

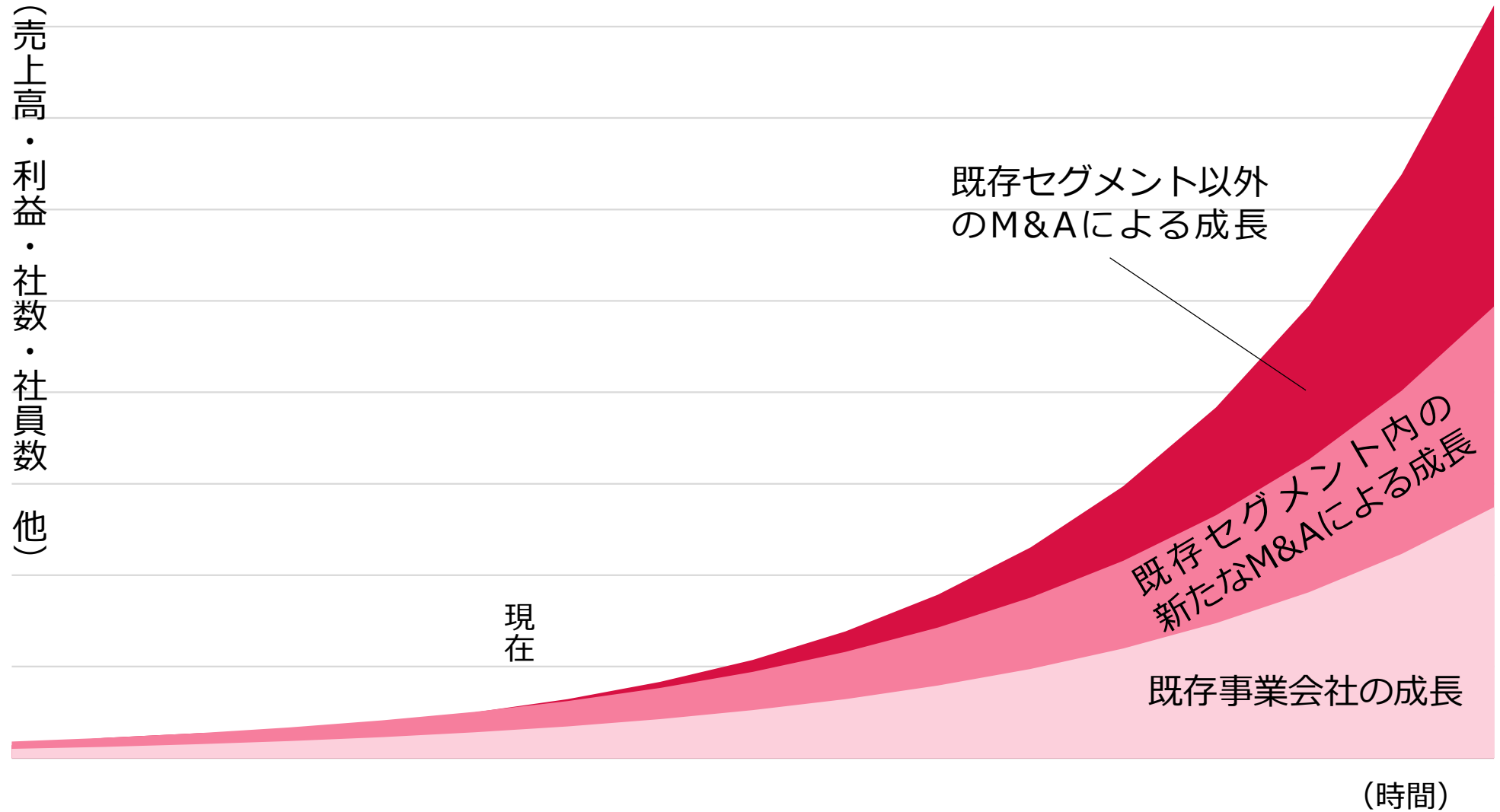
- 相互補完、相互成長を目的とした実業の連携
- ・技術協力
 - ・業務連携

長年、地域を支えてきた中小企業の生産性が向上

安定した職場の提供と所得の向上

当社の成長戦略

三段ロケット推進方式



グループビジョン

1. ビジョン

グループに集う主体的な仲間と共にイキイキと働き、やりがいを感じ、満足できる給与、休暇を得ることができる企業の全国ネットワークを築く

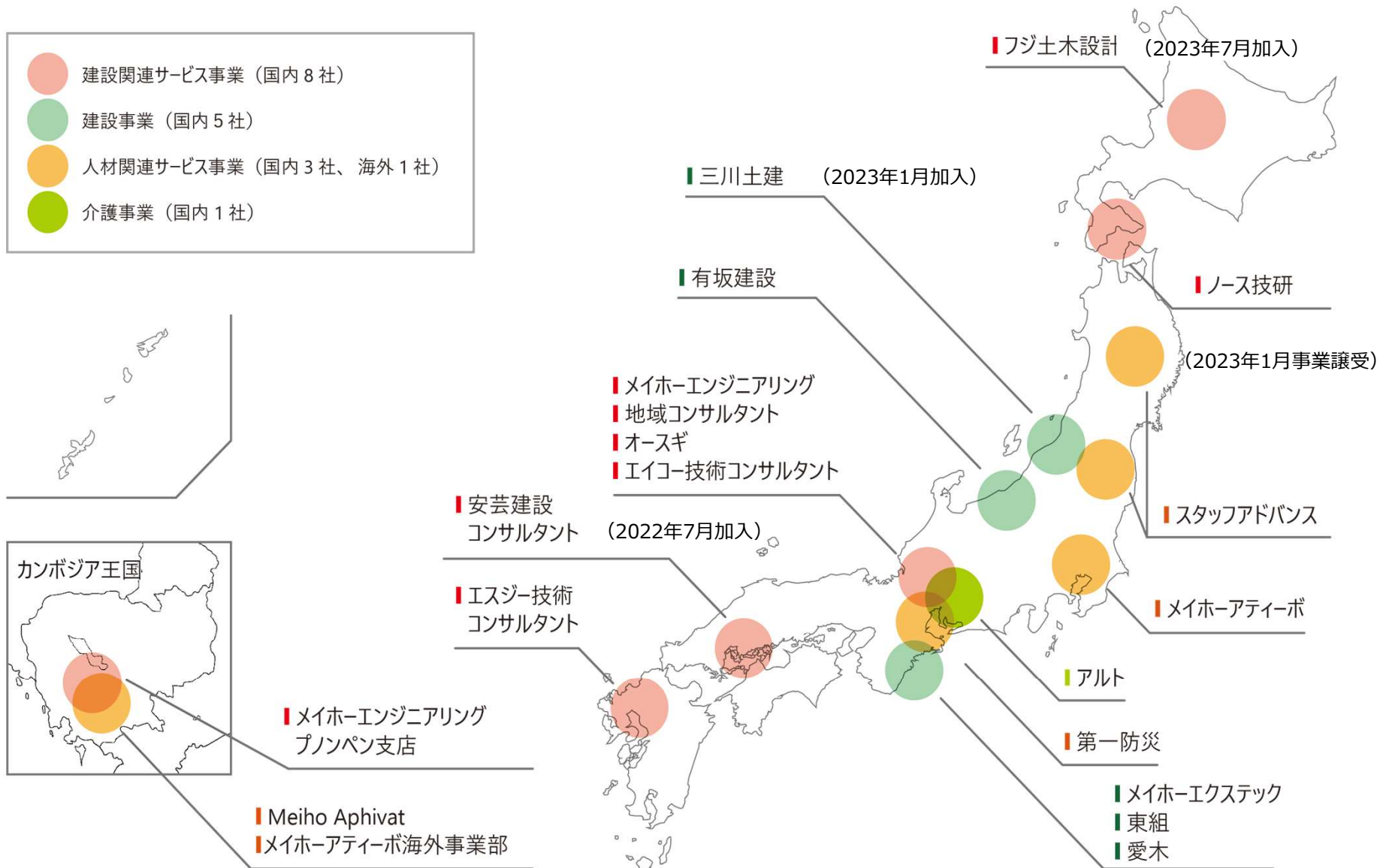
2. 企業規模

全国の各都道府県ごとに数社のグループ企業が存在
企業数300社、売上1,000億円、社員数10,000人

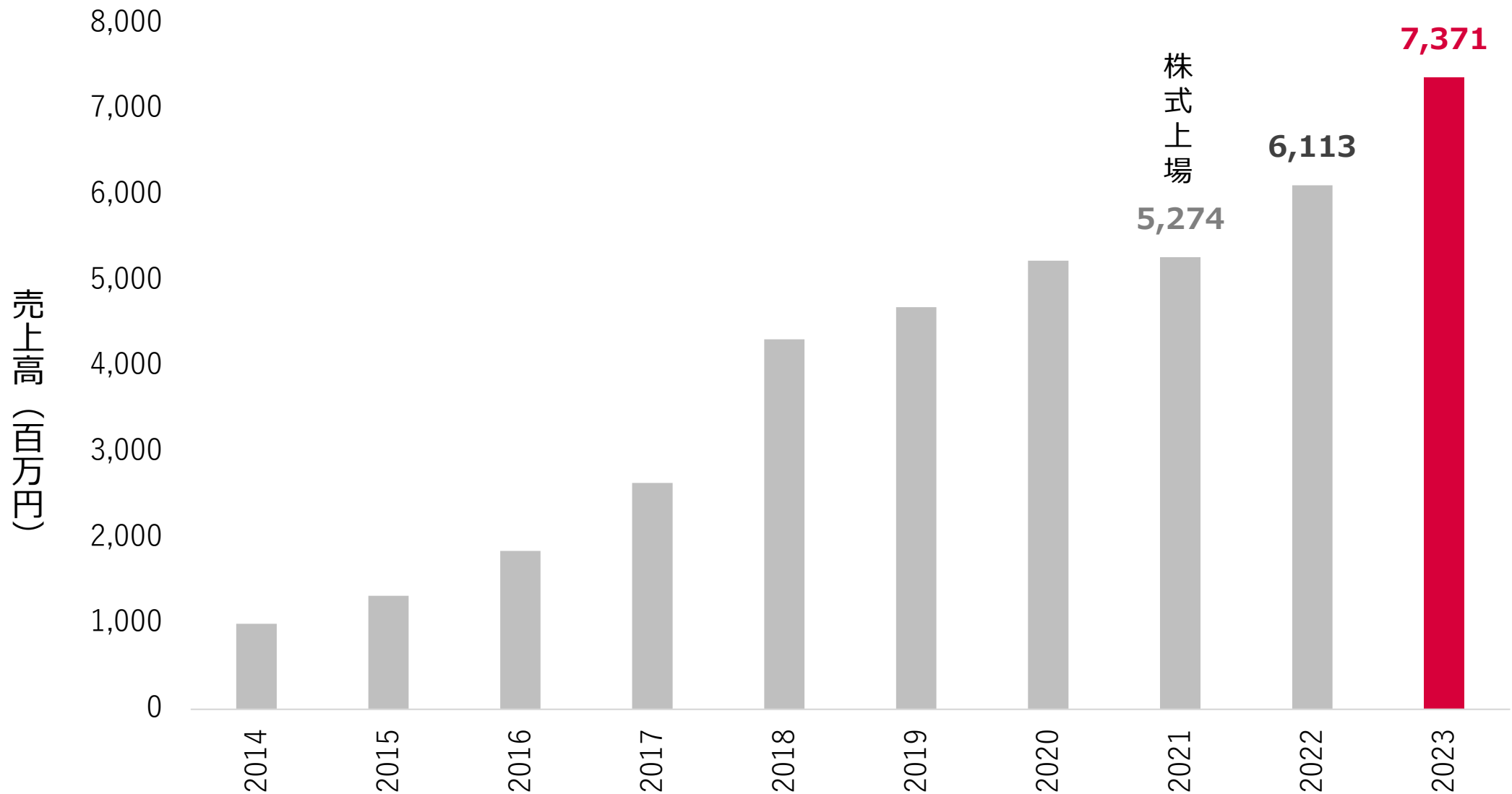
3. このビジョンを達成するために

M&Aを積極的に行い、能動的に主体的に生きることが一人ひとりのしあわせにつながることを共有する企業文化を形成する

グループネットワークは現在19社（含 当社）



過去10年間の売上高推移



※2014～2017年迄は、単純合算により算出し2018年以降は連結決算を採用した。2017年までにM&Aした会社について、M&A後6カ月経過した会社は当該決算年度に含め、6カ月未満の会社については翌決算年度より合算した。年表記は、決算月を含む年とした。

変わる勇気が、未来を変える。

メイホーグループは、中小企業のネットワークを創り、
中小企業が変わることで日本の閉塞感を変えていきたい
と考えています。

従業員一人ひとりが変わる勇気を持ち、未来へ挑戦して
まいります。



2023年6月期 決算実績

連結損益計算書

売上高、全ての利益ともに過去最高を更新

(単位：百万円)

	2022/6期	2023/6期	増減額	増減率 (%)	当初予想 2022年8月	直近予想 2023年2月
売上高	6,113	7,371	1,258	20.6	7,000	7,300
売上総利益	1,829	2,224	395	21.6	-	-
営業利益	343	462	120	34.9	370	330
経常利益	397	496	99	24.9	380	340
税引前 当期純利益	414	494	80	19.4	-	-
当期純利益	224	270	46	20.4	210	150

連結貸借対照表

純資産は前期比+265 百万円増加、自己資本比率は51.2%（前年末50.1%）

（単位：百万円）

	2022/6期	2023/6期	増減額		2022/6期	2023/6期	増減額
流動資産	2,395	2,424	+29	流動負債	1,099	1,445	+346
（主な内訳）				（主な内訳）			
現金及び預金	893	1,127	+234	買掛金	142	185	+43
受取手形等及び売掛金	522	505	▲18	契約負債	146	285	+139
契約資産	806	591	▲215	1年内返済予定長期借入金	78	35	▲43
原材料及び貯蔵品	30	31	+0	リース債務（流動）	5	6	+1
固定資産	1,317	1,723	+405	固定負債	754	577	▲177
（主な内訳）				（主な内訳）			
有形固定資産	990	1,113	+123	長期借入金	516	298	▲219
無形固定資産	135	393	+258	リース債務（固定）	7	5	▲2
内、のれん	76	346	+270	負債合計	1,853	2,022	+169
投資その他資産	192	216	+24	純資産	1,860	2,125	+265
資産合計	3,713	4,147	+434	負債・純資産合計	3,713	4,147	+434

連結キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物の期末残高は、前期比 234 百万円増加し 1,126 百万円

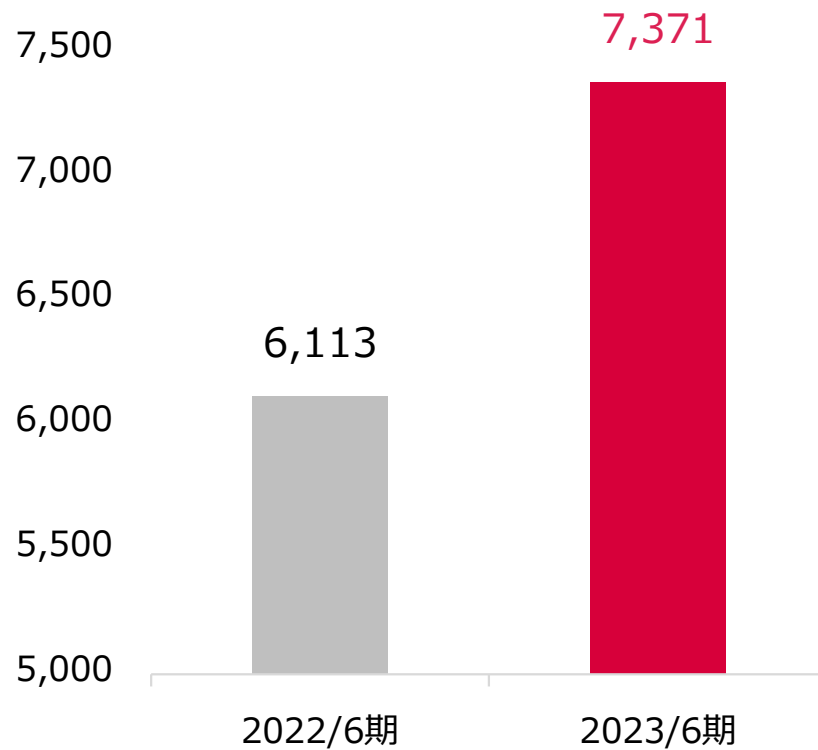
(単位：百万円)

	2022/6期	2023/6期	増減額
営業キャッシュ・フロー	6	1,138	+1,132
投資キャッシュ・フロー	▲192	▲532	▲340
フリーキャッシュ・フロー	▲186	606	+792
財務キャッシュ・フロー	49	▲373	▲422
現金及び現金同等物の期末残高	892	1,126	+234

売上高（連結）

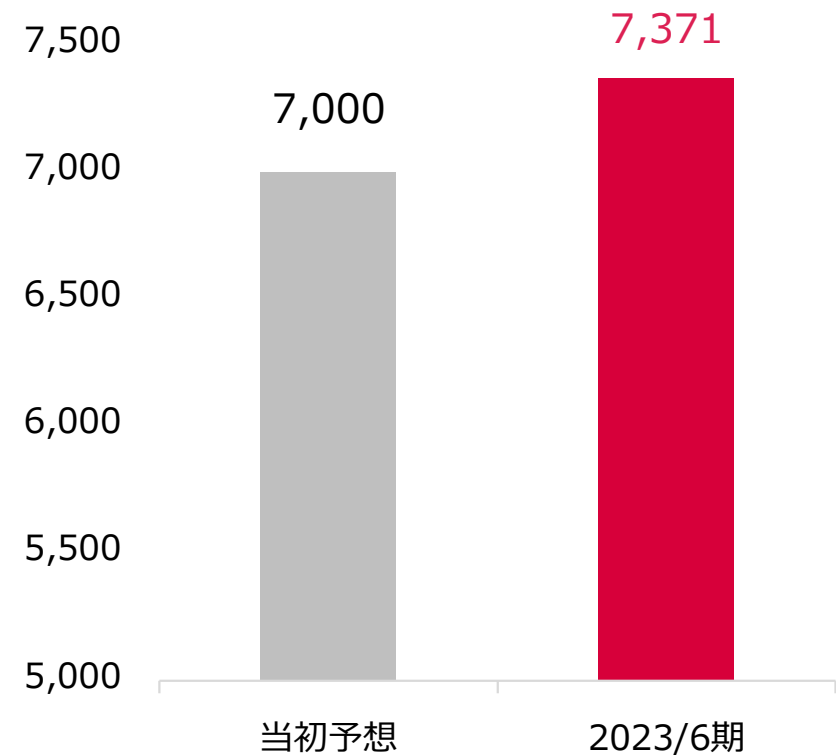
（単位：百万円）

前年同期との比較



前年同期比 +1,258 百万円増（同 20.6%増）

当初予想との比較



当初予想比 +371 百万円増（同 5.3%増）

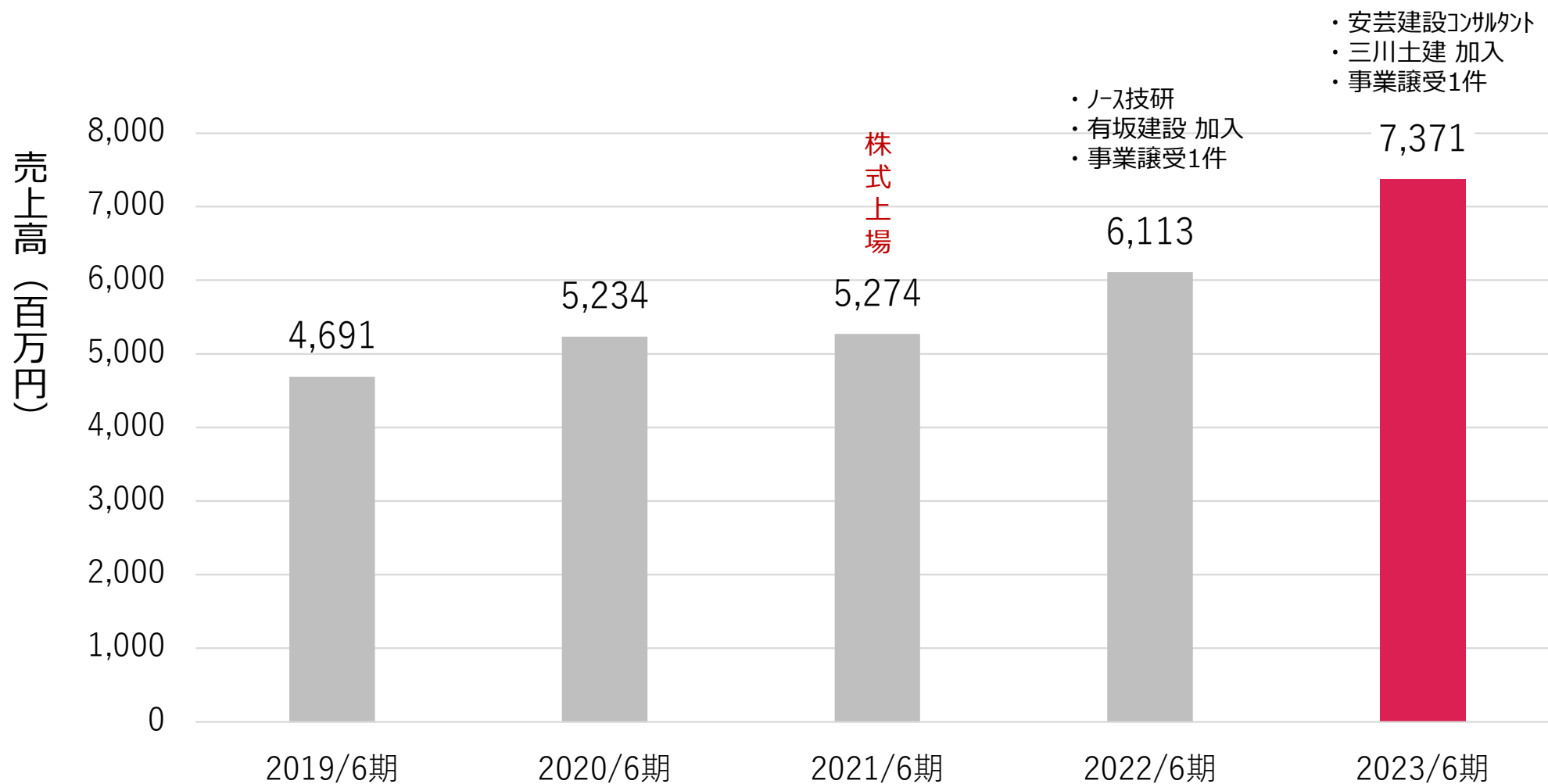
※当初予想には、2022年7月にグループ加入した安芸建設コンサルタントの予想を含み、期中にグループ加入した三川土建、人材派遣事業（岩手）の予想は含まれておりません。

(参考) 売上高の推移

M&Aによるグループ拡大

内部管理体制強化のためM&A凍結

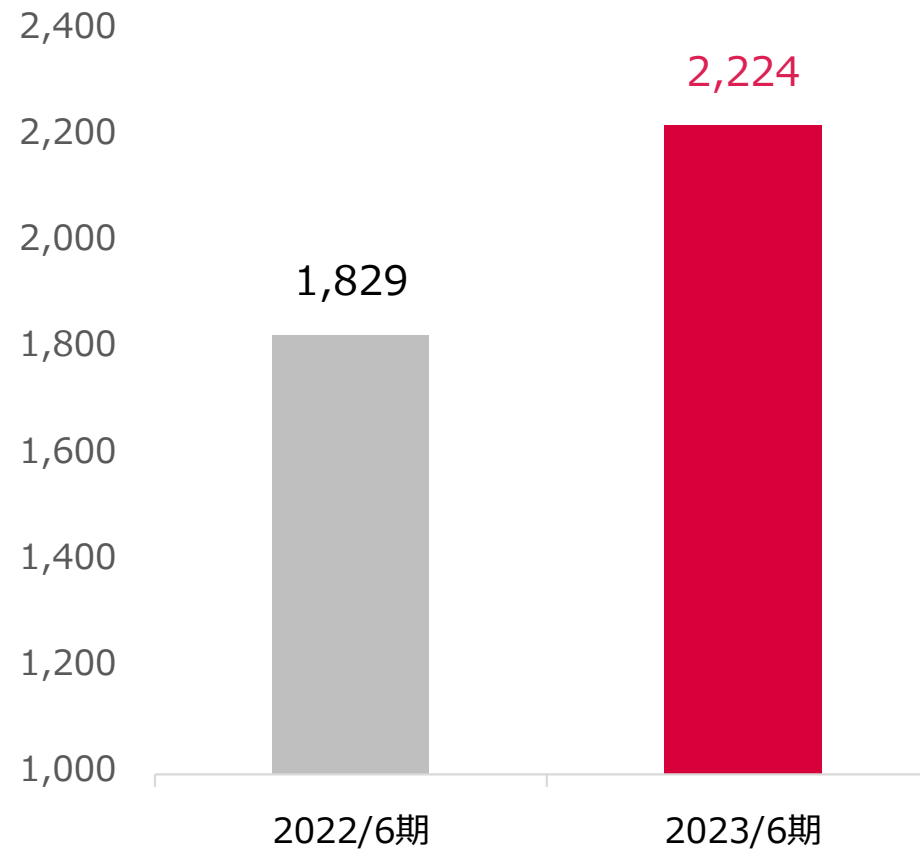
M&A再開・グループネットワークの拡大へ



売上総利益（連結）

（単位：百万円）

前年同期との比較

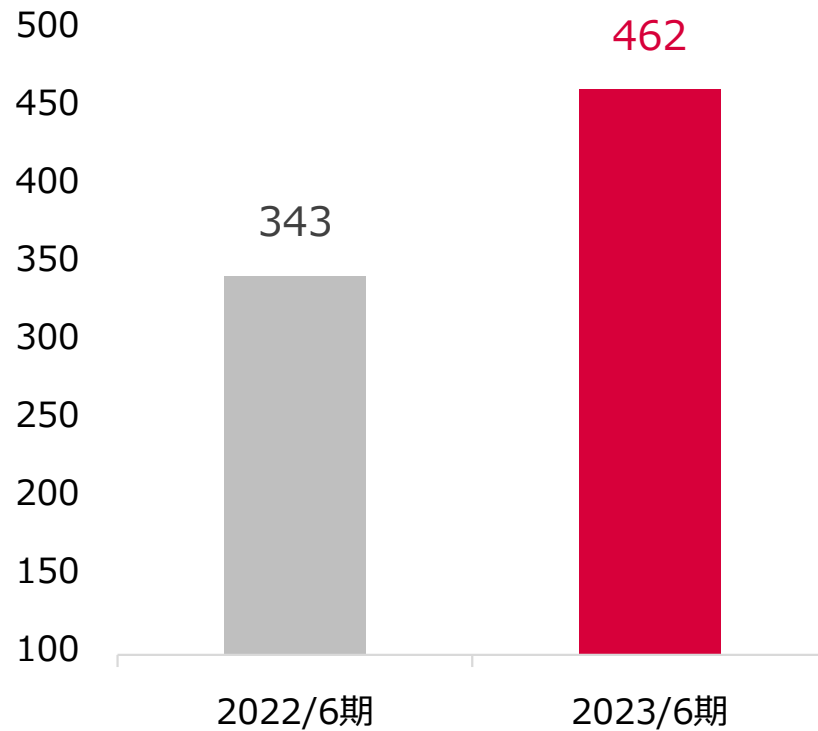


前年同期比 +395 百万円増（同 21.6%増）

営業利益（連結）

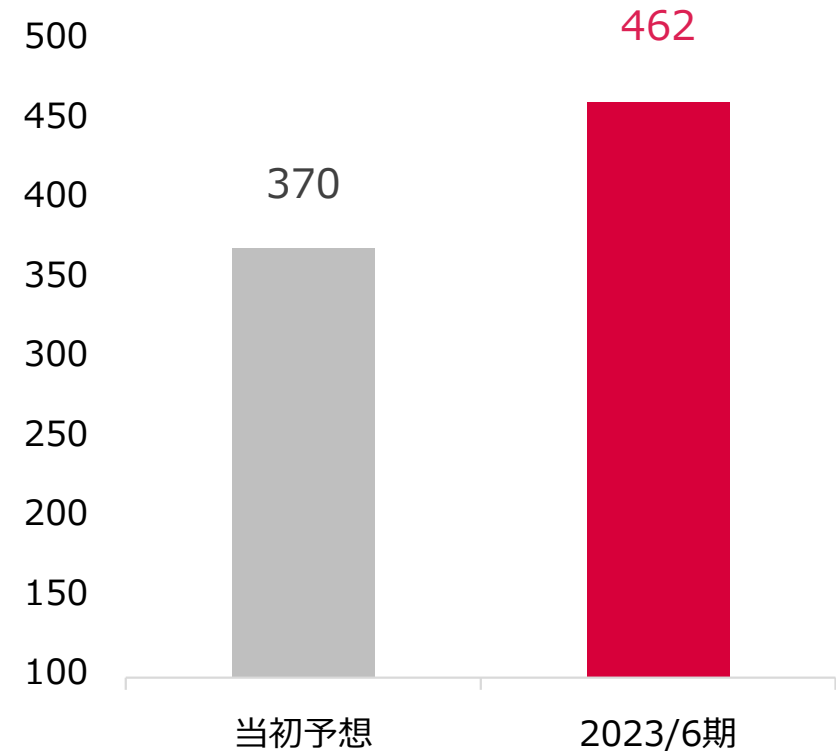
(単位：百万円)

前年同期との比較



前年同期比 +120 百万円増 (同 34.9%増)

当初予想との比較

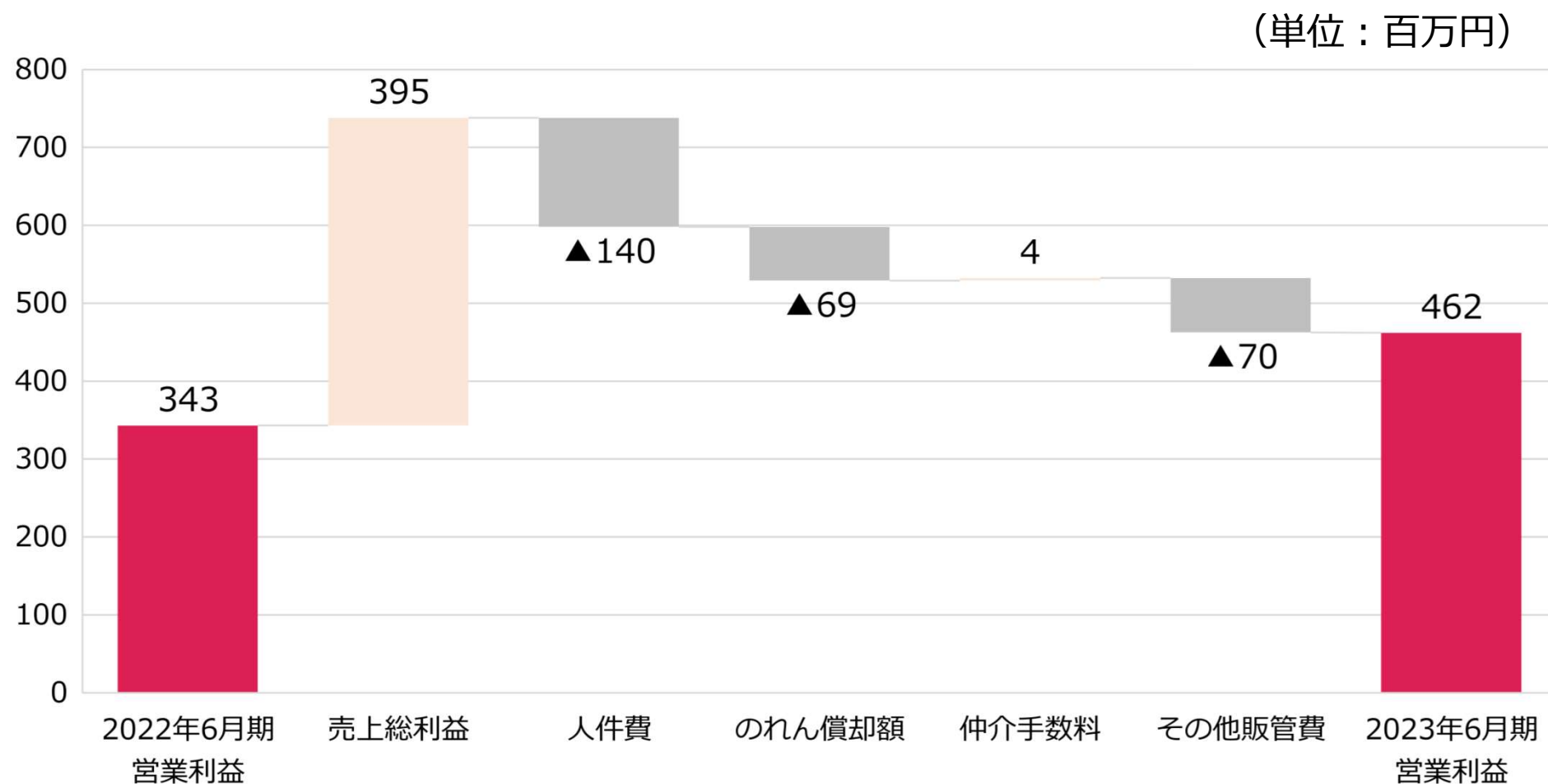


当初予想比 +92 百万円増 (同 25.0%増)

※当初予想には、2022年7月にグループ加入した安芸建設コンサルタントの予想を含み、期中にグループ加入した三川土建、人材派遣事業（岩手）の予想は含まれておりません。

(参考) 営業利益の増減分析

グループネットワークの拡大等により売上総利益は増加、のれん償却額も増加
人材の採用など、さらなる成長に向けてグループ経営基盤を強化



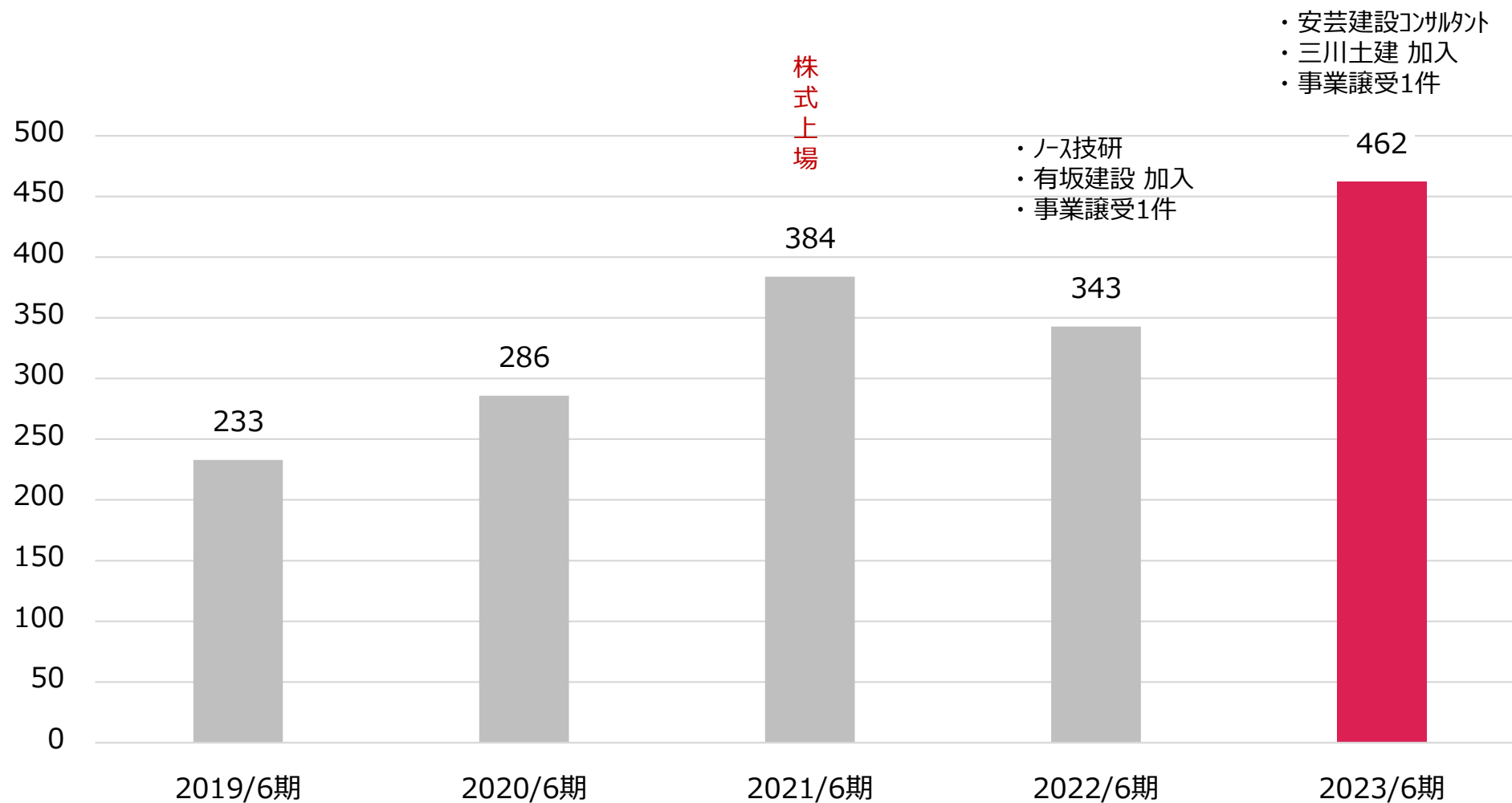
(参考) 営業利益推移

(単位：百万円)

M&Aによるグループ拡大

内部管理体制強化のためM&A凍結

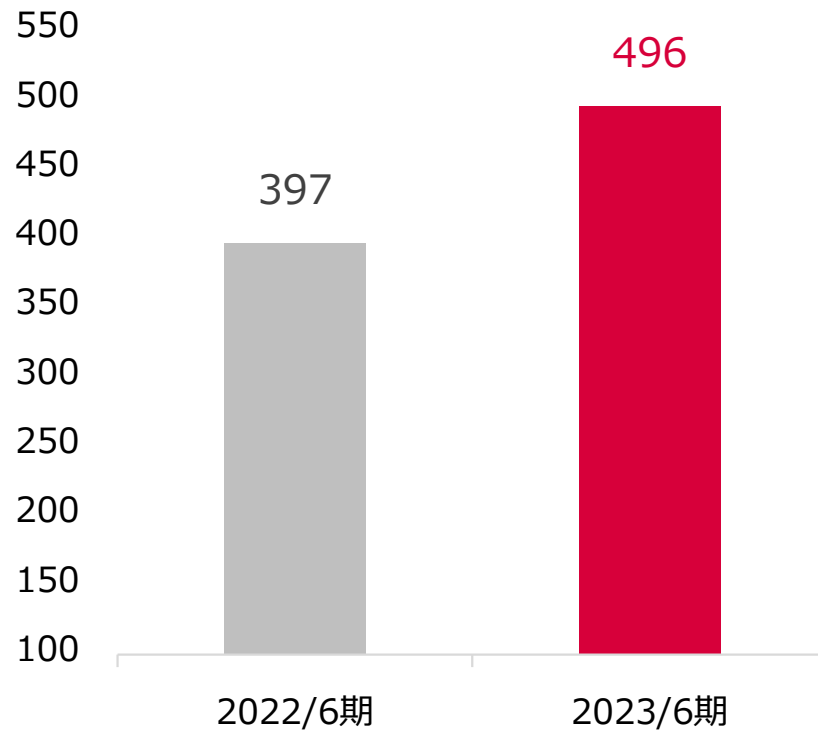
M&A再開・グループネットワークの拡大へ



経常利益（連結）

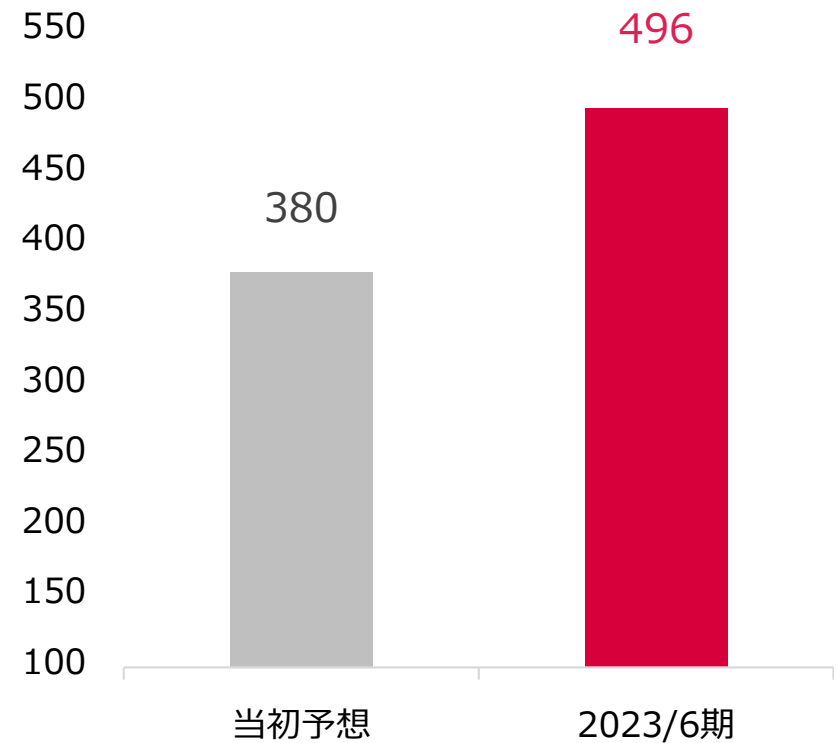
(単位：百万円)

前年同期との比較



前年同期比 +99 百万円増 (同 24.9%増)

当初予想との比較



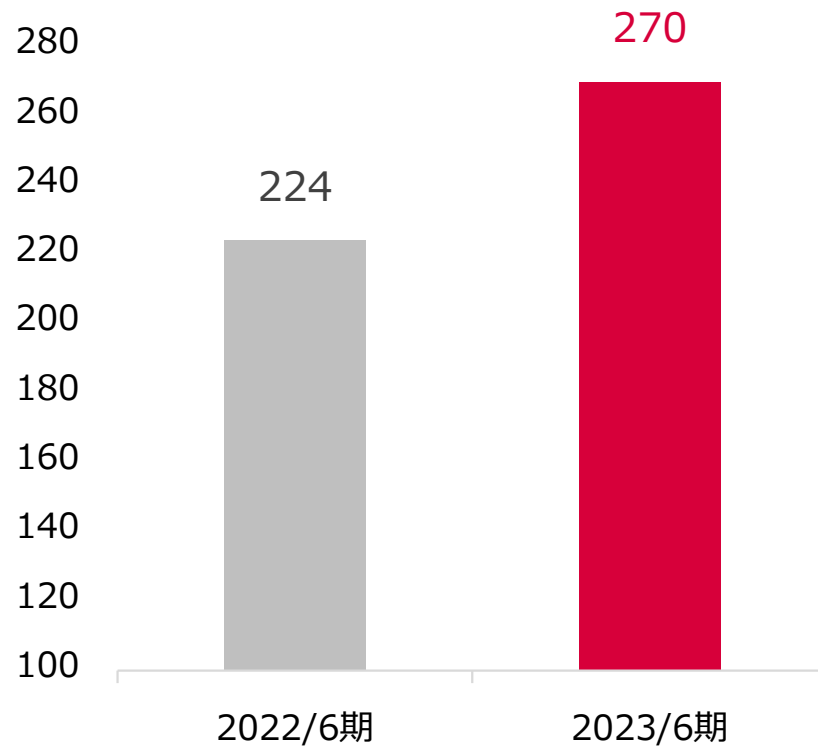
当初予想比 +116 百万円増 (同 30.4%増)

※当初予想には、2022年7月にグループ加入した安芸建設コンサルタントの予想を含み、期中にグループ加入した三川土建、人材派遣事業（岩手）の予想は含まれておりません。

親会社株主に帰属する当期純利益（連結）

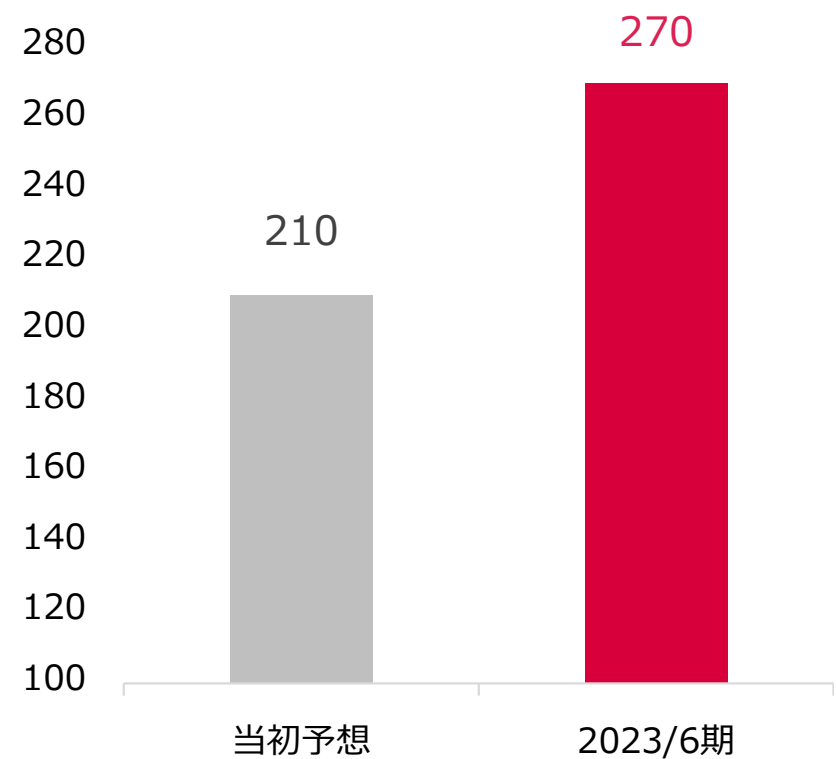
（単位：百万円）

前年同期との比較



前年同期比 +46 百万円増（同 20.4%増）

当初予想との比較



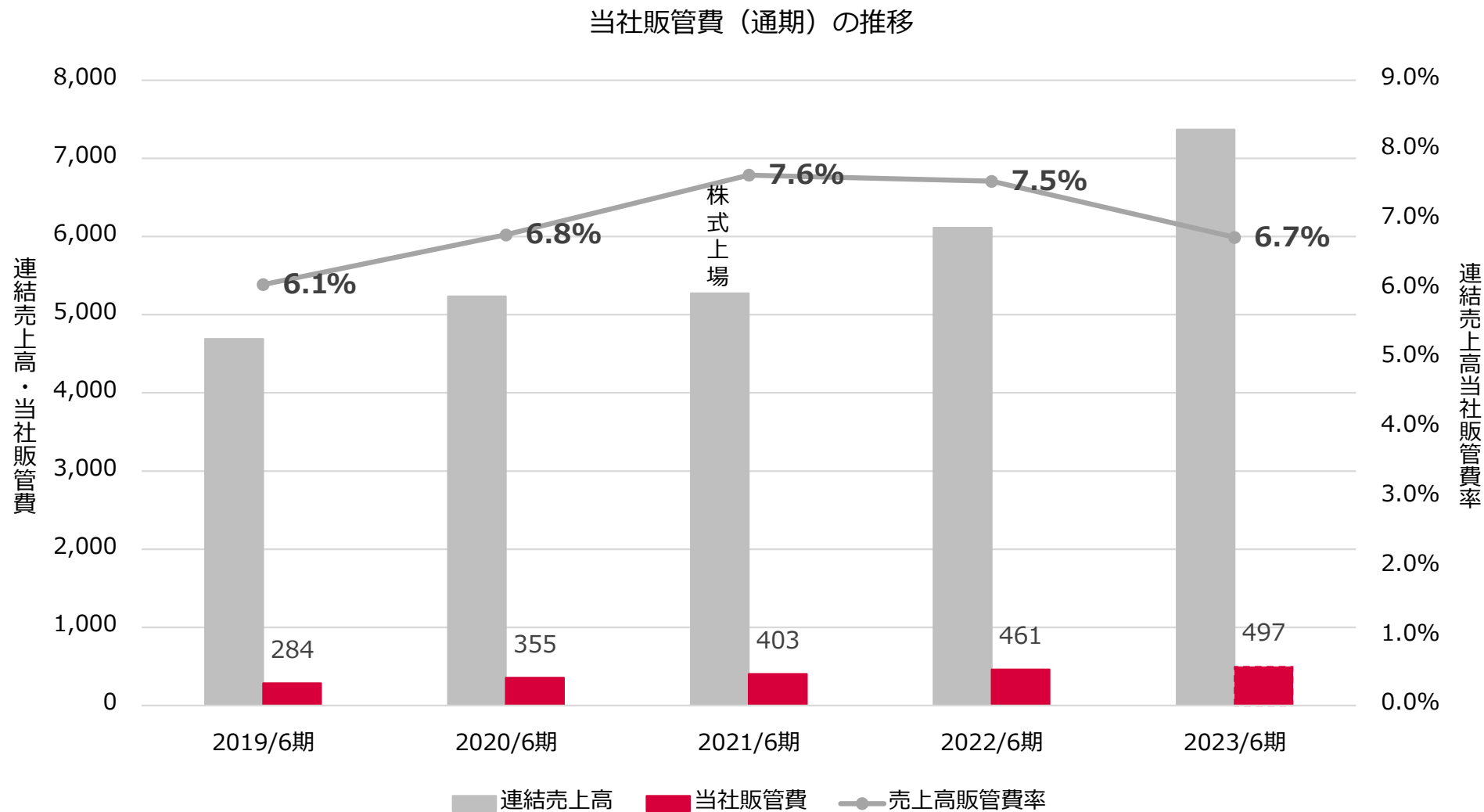
当初予想比 +60 百万円増（同 28.5%増）

※当初予想には、2022年7月にグループ加入した安芸建設コンサルタントの予想を含み、期中にグループ加入した三川土建、人材派遣事業（岩手）の予想は含まれておりません。

(参考) 連結売上高に対する当社販管費の推移

連結売上高に対する当社管理費率はピークアウト

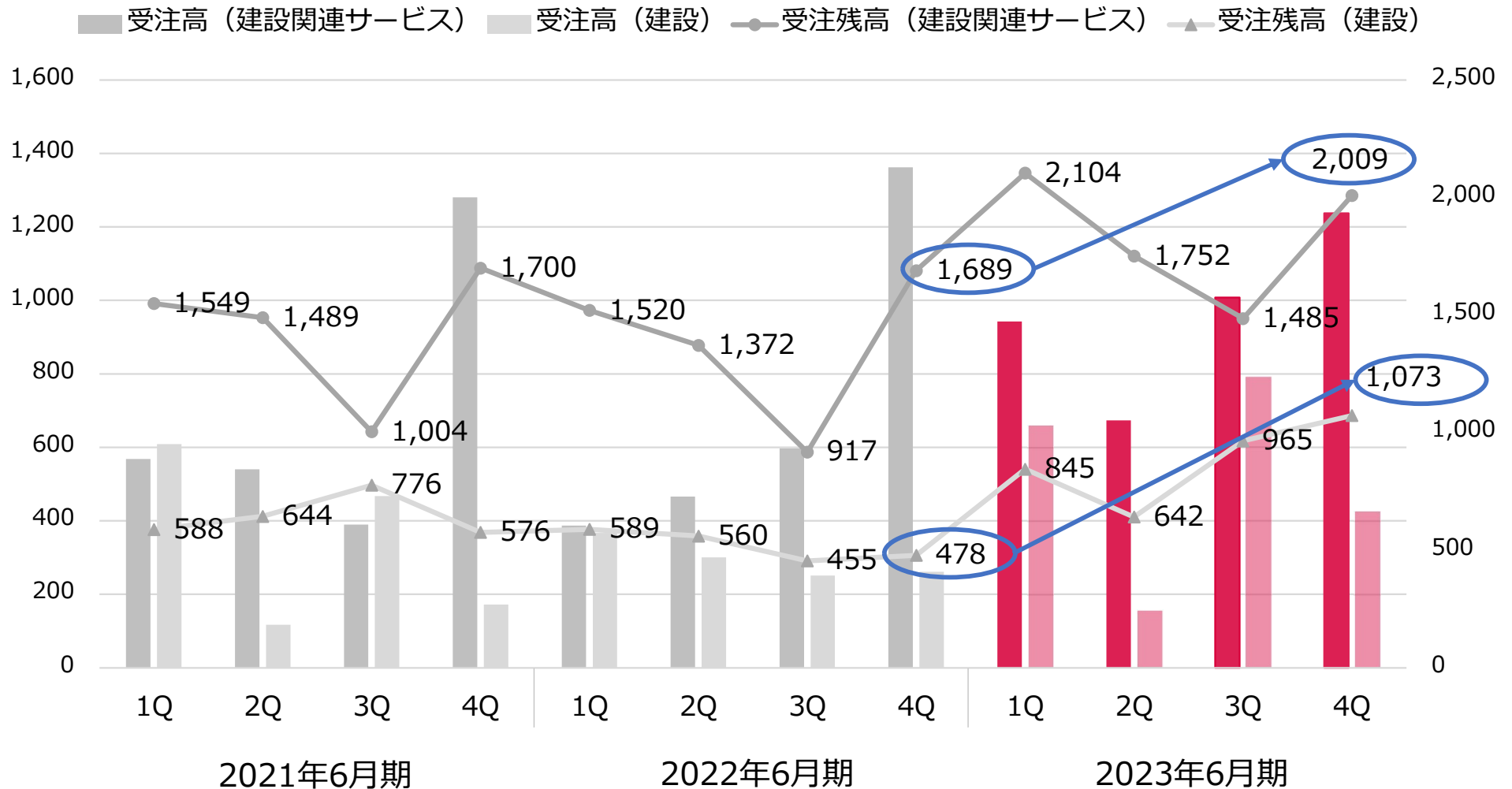
(単位：百万円)



(参考) 受注高と受注残高の推移

期末受注残高は建設関連サービス事業、建設事業とも前期に比べ増加

(単位：百万円)



2024年6月期 業績予想

通期連結業績予想

売上高 8,000百万円、営業利益 500百万円

(単位：百万円)

	2023/6期 実績	2024/6期 予想	増減額	増減率 (%)
売上高	7,371	8,000	629	8.5
営業利益	462	500	38	8.1
経常利益	496	530	34	6.9
当期純利益	270	300	30	11.1

※2023年7月にグループ加入したフジ土木設計の業績予想は織込済

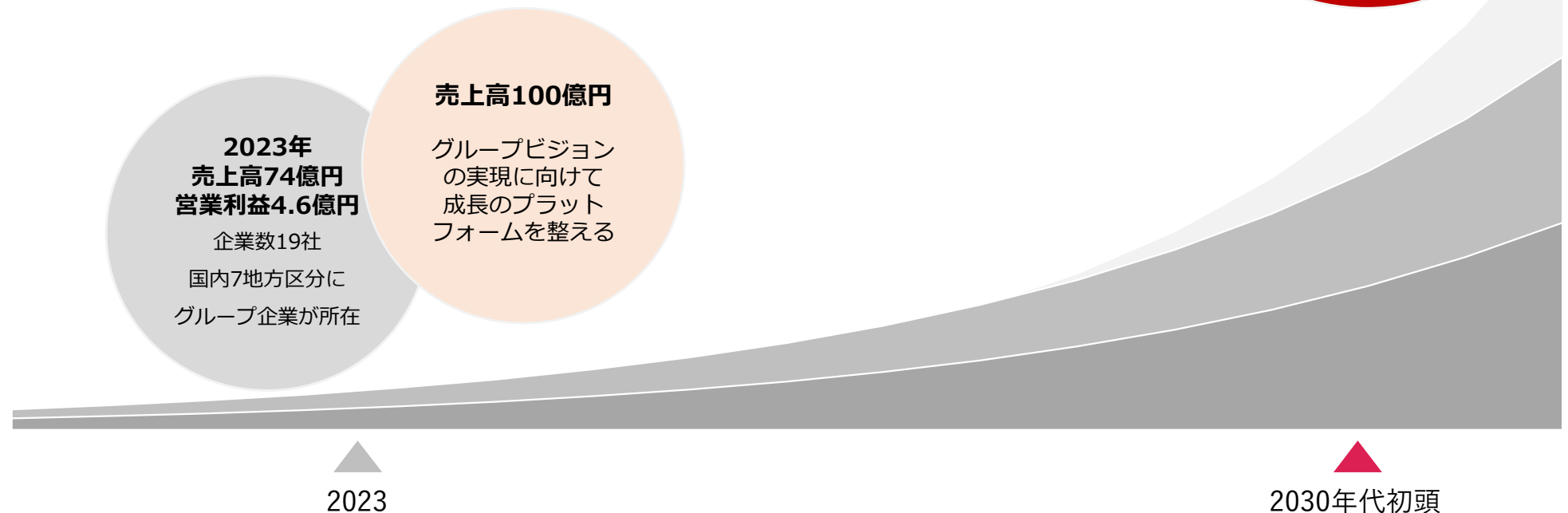
※新たなM&Aによる影響は考慮しておりません

今後の取り組み

今後の取り組み

グループビジョンの実現に向けて成長のプラットフォームを整える

- M&Aの推進 売上高100億円体制の早期実現
- グループとしてのさらなる一体感の醸成
- メイホーグループの知名度の向上



參考資料

会社概要

会社名	株式会社メイホーホールディングス
本店所在地	岐阜県岐阜市吹上町6丁目21番
事業の内容	建設コンサルタント業、補償コンサルタント業、測量業、地質調査業、人材派遣事業、警備業、建設業、介護事業等を営む子会社等の経営管理及びこれに附帯する業務
代表者	代表取締役社長 尾松 豪紀（おまつ ひでとし）
設立	2017年2月1日（創業 1981年7月25日、株式会社メイホーエンジニアリングとして）
資本金	446百万円
決算期	6月末日
連結業績	売上高7,371百万円、経常利益496百万円（2023年6月期実績）
従業員数（連結）	1,118名（2023年6月末現在）
グループ会社数	18社（当社含む、2023年6月末現在）
上場証券取引所	東京証券取引所（グロース市場）、名古屋証券取引所（ネクスト市場）
証券コード	7369
発行済み株式数	1,564,100株

永続的発展的な企業を創り

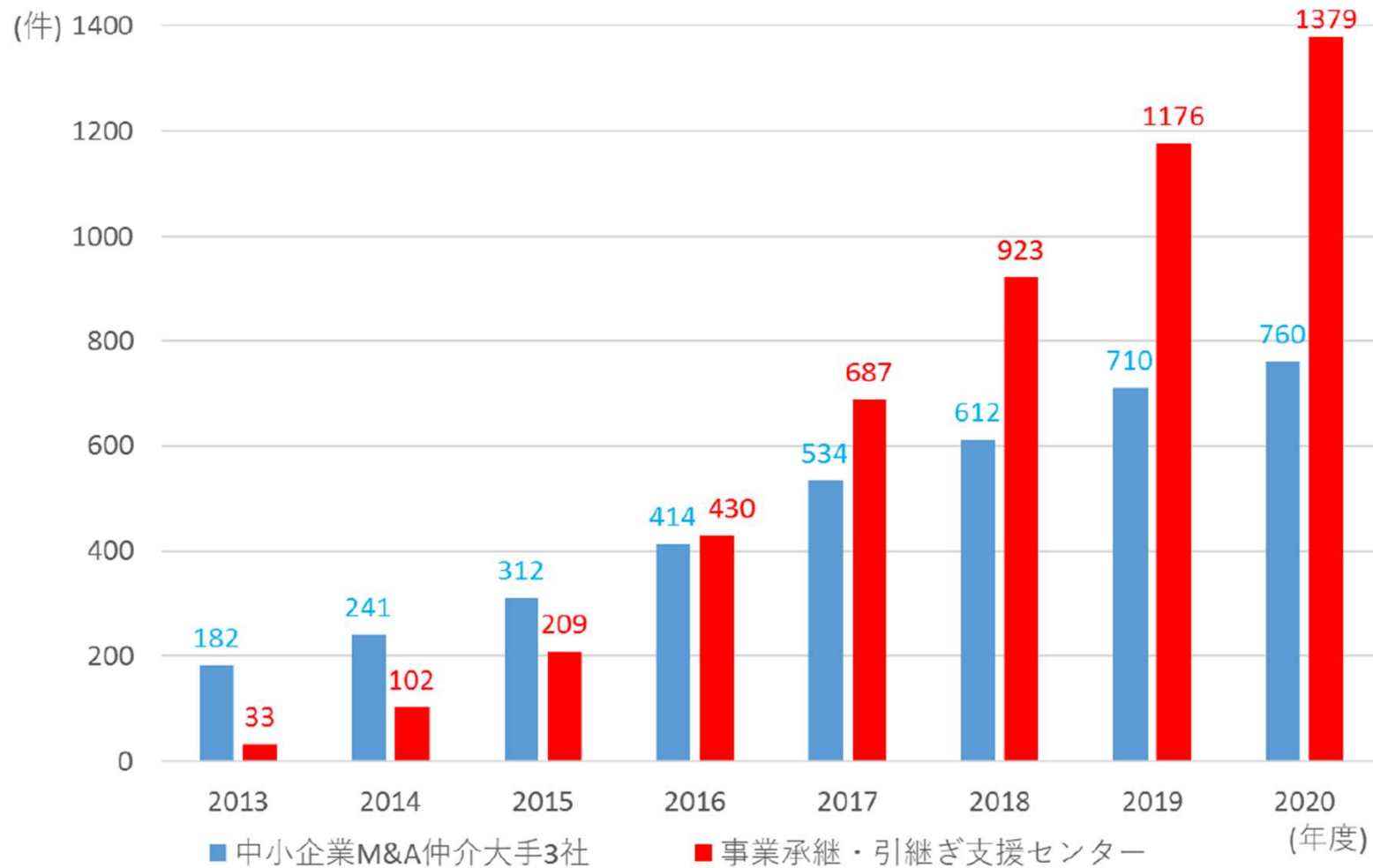
全従業員のおあわせを追求するとともに

将来世代がおあわせを実感できる社会に貢献します

※2023年6月、グループ理念の表現を改訂しました

外部環境：中小企業のM&Aの実施件数は右肩上がり増加

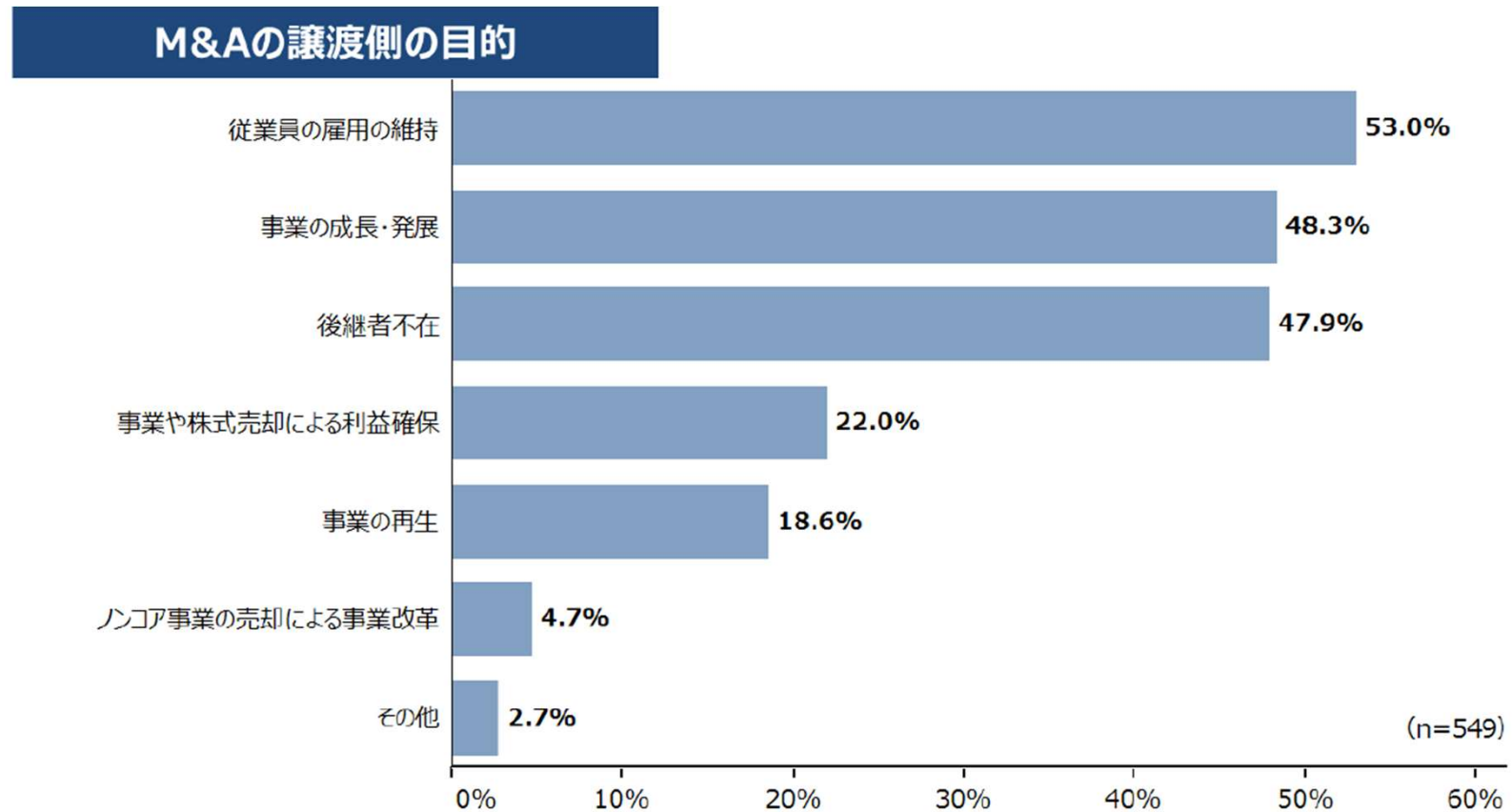
中小M&Aの実施件数の推移



(注) 「中小企業M&A仲介大手3社」とは「(株)日本M&Aセンター」、「(株)ストライク」、「M&Aキャピタルパートナーズ(株)」を指す。

外部環境：M&Aの譲渡側の目的

M&Aの譲渡側の目的としては、事業承継のほか、事業の成長・発展が多くみられる



資料：(株)東京商工リサーチ「中小企業の財務・経営及び事業承継に関するアンケート」

(注)1.M&Aの実施意向について「売り手として意向あり」、「買い手・売り手ともに意向あり」と回答した者に対する質問。

2.複数回答のため、合計は必ずしも100%にならない。

【資料】中小企業白書 (2021年)

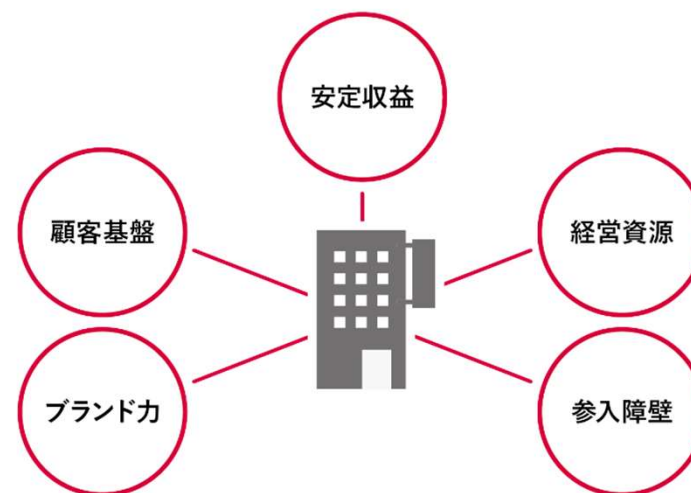
メイホーグループのM&Aの特徴

実績と成長可能性を重視

M&Aの基本方針

M&Aの基本方針		M&A対象企業の5つ特徴	
目的	グループの強化と地域企業の存続	ブランド力	特定の地域で実業を営んでいる
対象とする企業	成長可能性がある後継者不在企業	参入障壁	許認可事業である
対象とする企業規模	中小企業	顧客基盤	公共関連事業の元請企業である
保有方針	長期（売却を前提としない）	経営資源	従業員・技術的リソースを持つ
		安定収益	健全な経営を行っている企業

候補企業の選定方針



実績があり成長可能性のある企業をグループ加入候補企業としています

現在のメイホーグループの事業領域

現在は4事業領域、これに加えて新たな事業領域へ



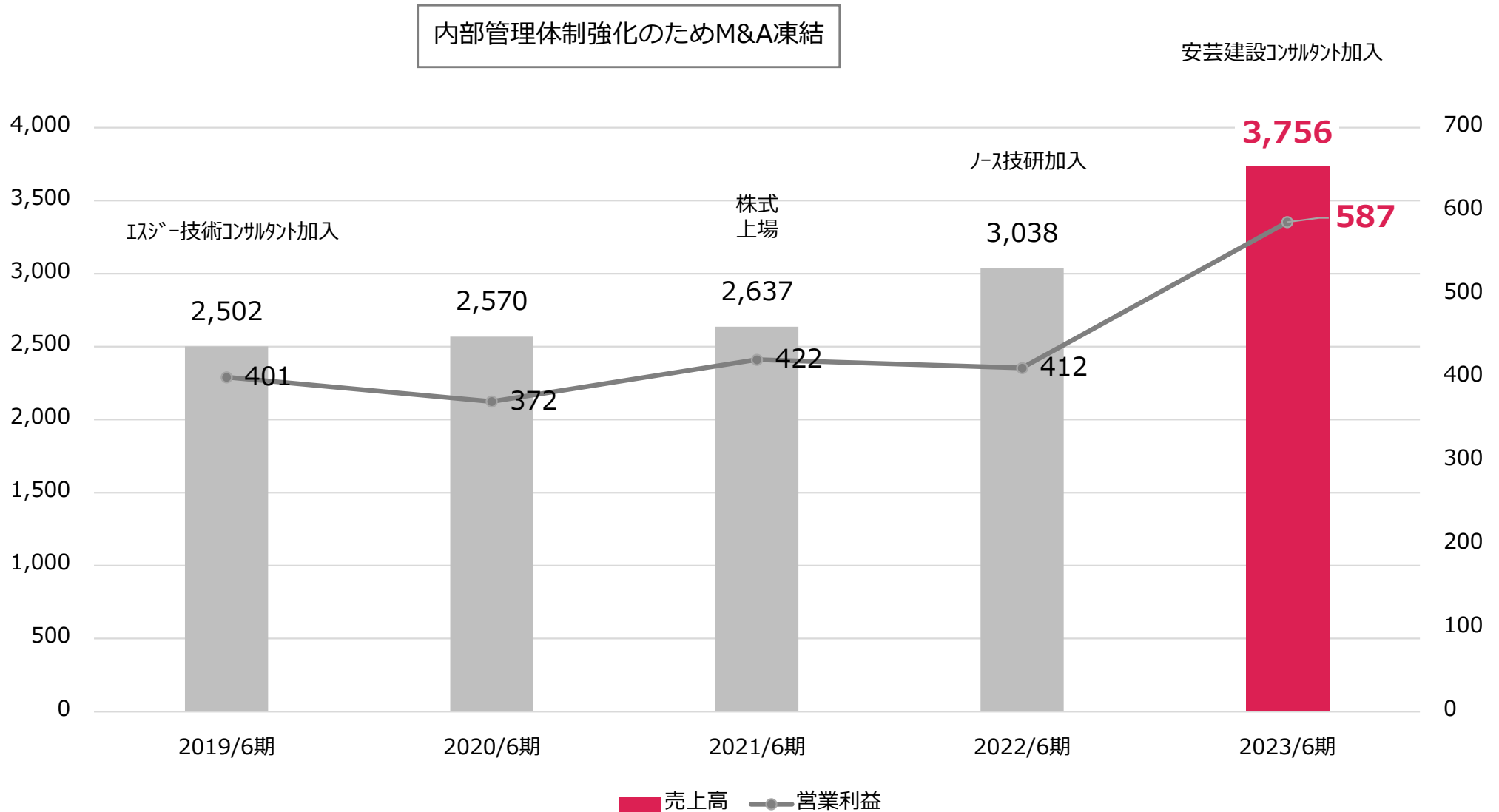
2023年6月期 決算実績 セグメント別業績

建設関連サービス事業が業績をけん引

(単位：百万円)

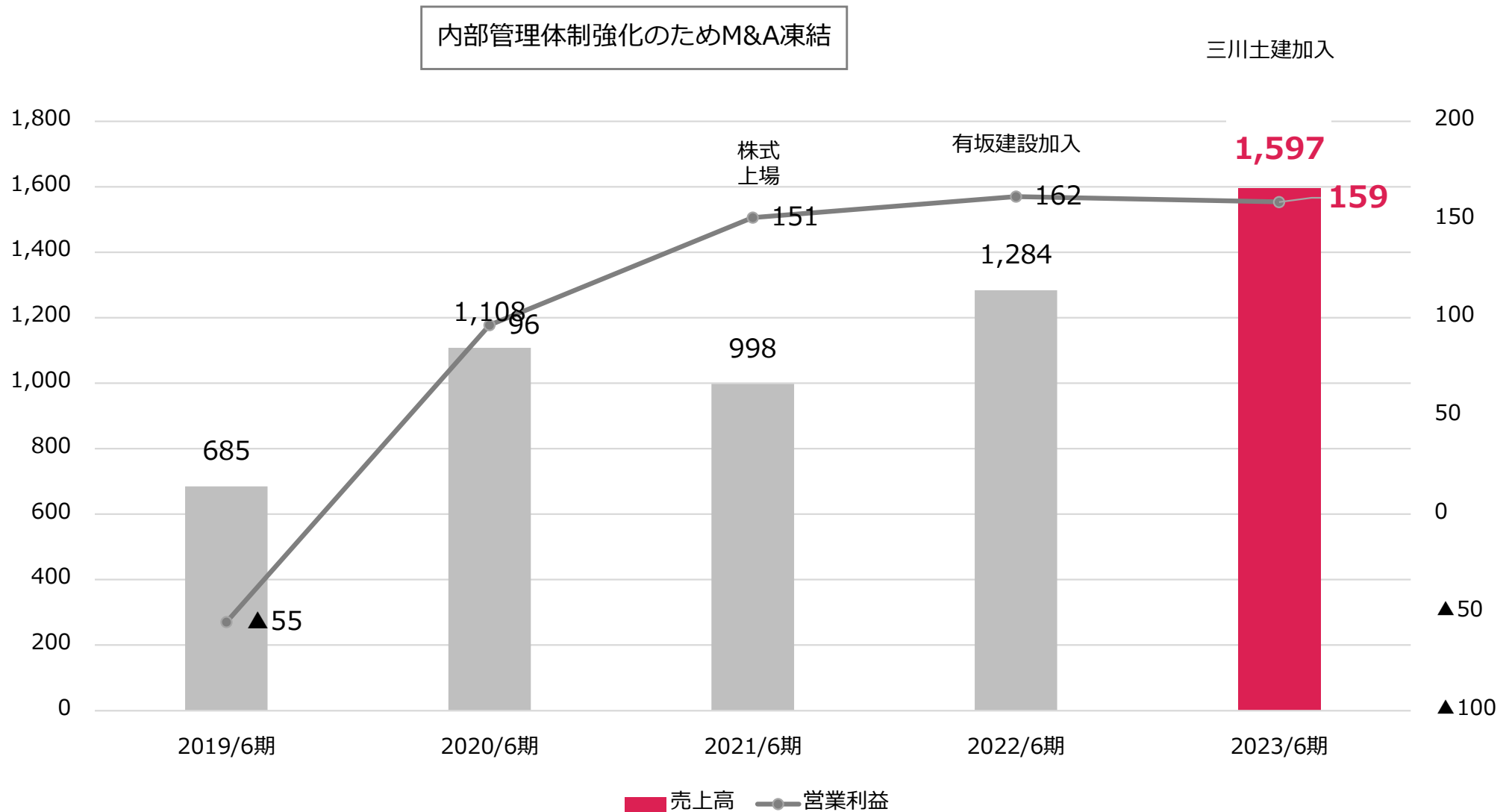
事業セグメント		2022/6期	2023/6期	増減額	増減率 (%)	当初予想 2022/8	直近予想 2023/2
建設関連サービス事業	売上高	3,038	3,756	718	23.6	3,600	3,690
	売上総利益	1,009	1,348	339	33.6	-	-
	営業利益	412	587	175	42.5	464	505
人材関連サービス事業		1,161	1,323	162	13.9	1,283	1,360
		310	318	8	2.6	-	-
		129	102	▲28	▲21.5	137	120
建設事業		1,284	1,597	312	24.3	1,380	1,540
		317	351	34	10.8	-	-
		162	159	▲3	▲1.7	161	110
介護事業		645	707	61	9.5	720	710
		193	208	16	8.1	-	-
		92	103	11	12.3	100	95
全社・消去（差引）		▲17	▲12	5	-	▲17	0
		0	▲1	▲2	-	-	-
		▲452	▲488	▲36	-	▲492	▲500
グループ連結		6,113	7,371	1,258	20.6	7,000	7,300
		1,829	2,224	395	21.6	-	-
		343	462	120	34.9	370	330

建設関連サービス事業 売上高・営業利益の推移



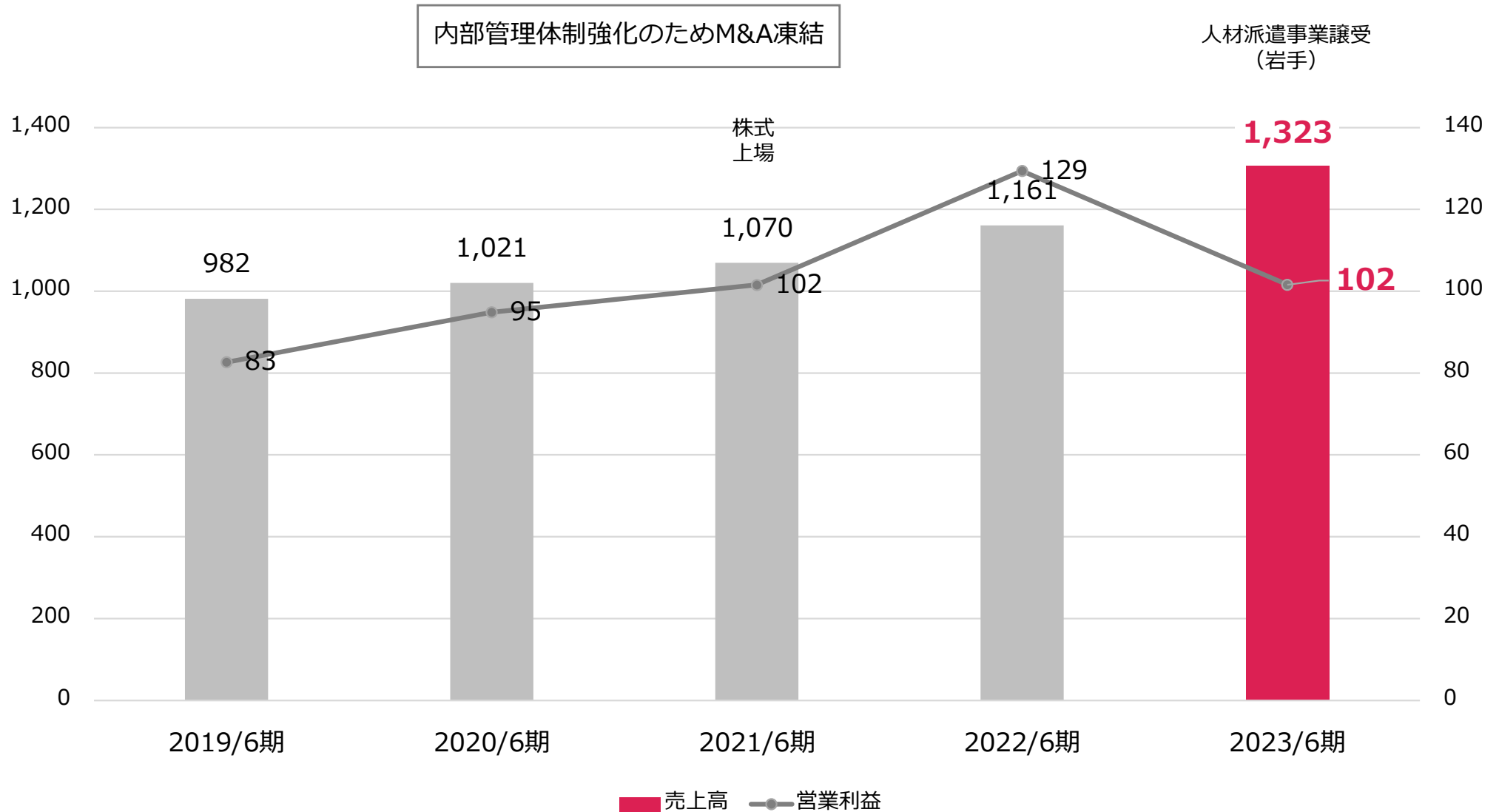
建設事業 売上高・営業利益の推移

(単位：百万円)



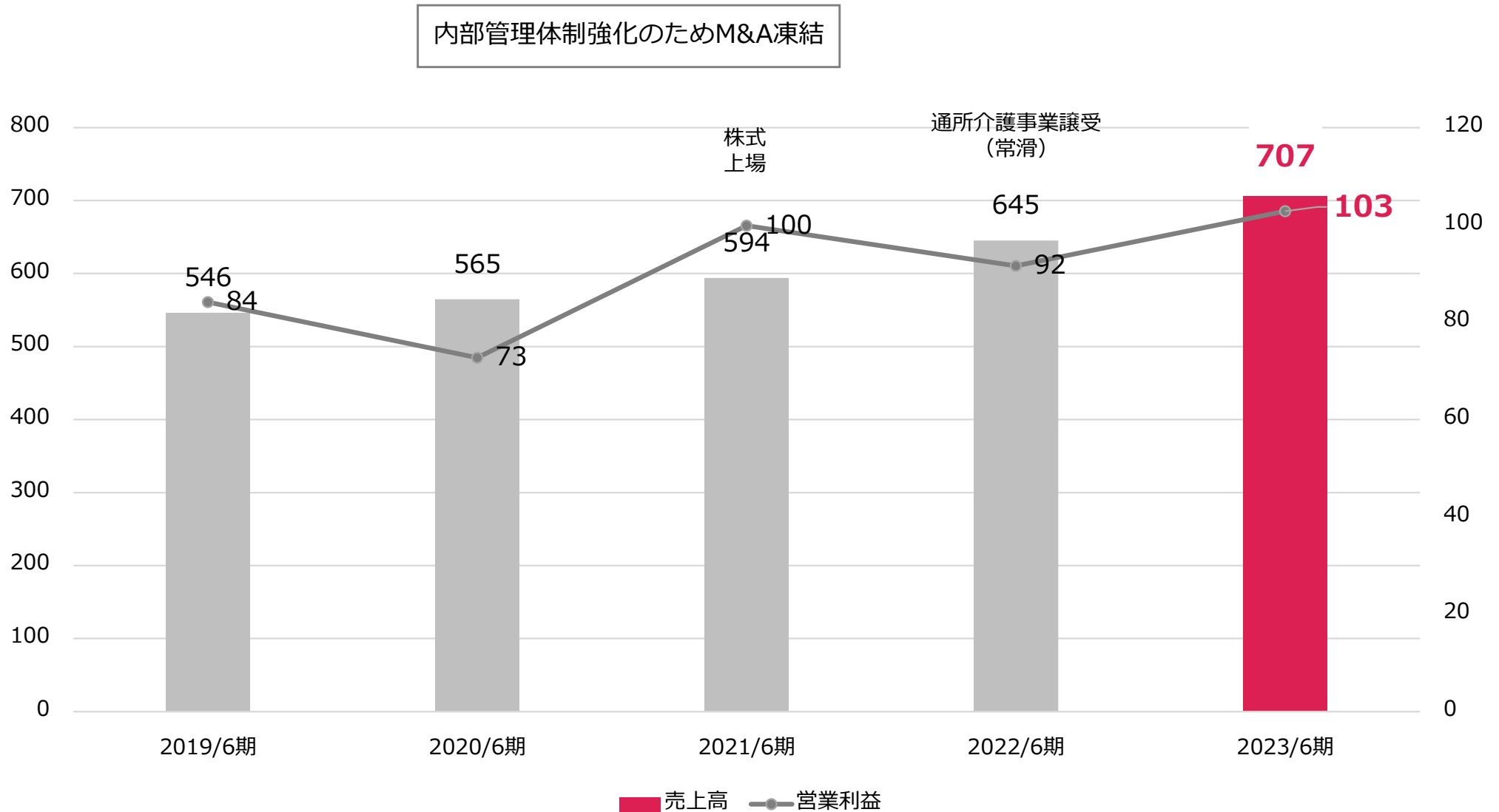
人材関連サービス事業 売上高・営業利益の推移

(単位：百万円)



介護事業 売上高・営業利益の推移

(単位：百万円)



2024年6月期 業績予想 セグメント別 事業の見通し

建設関連サービス

- 公共事業関係費は安定的に推移
- 2023年7月よりフジ土木設計がグループ加入、通期で業績寄与

人材関連サービス

- 建設技術者派遣、製造業派遣は人材需要の増加を見込む
- 2023年1月譲受の人材派遣事業（岩手県）が通期で業績寄与

建設

- 公共事業関係費は安定的に推移
- 2023年1月にグループ加入した三川土建が通期で業績寄与

介護

- ウィズコロナの進展により利用者数は回復傾向
- 入所施設開設準備を開始、事業領域拡大を目指す

2024年6月期 業績予想 セグメント別業績予想

(単位：百万円)

事業セグメント		2023/6期 実績	2024/6期 予想	増減額	増減率 (%)
建設関連サービス事業	売上高 営業利益	3,756 587	3,910 570	154 ▲17	4.1 ▲2.9
人材関連サービス事業	〃	1,323 102	1,740 160	417 58	31.5 56.9
建設事業	〃	1,597 159	1,700 160	103 1	6.4 0.6
介護事業	〃	707 103	760 110	53 7	7.5 6.8
全社・消去（差引）	〃	▲12 ▲488	▲110 ▲500	5 ▲36	- -
グループ連結	〃	7,371 462	8,000 500	629 38	8.5 8.1

※全社・消去（差引）は、グループ連結業績予想と事業セグメント業績予想の合計値の差引としています。



- 本資料における業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は、予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料に含まれる数値等は、当社グループの経営成績及び財政状態に関して、適切な理解を促進することを目的として開示しており、監査法人による監査またはレビューの対象ではないことにご留意ください。